



「あすがくワークシート」

教材のねらい

- 思考、判断のステップに沿った設問に取り組むことで、「事実を正確に理解する力」「自らの考えを深めていく力」「的確に分かりやすく伝える力」を伸ばしていき、思考力・判断力・表現力を育成する教材
- 「あすがく」実施後の、復習・補完教材として、「あすがく」で見えてきた不足している力を育成する教材



想定する活用場面

- 「あすがく」の復習（確認）プリントとして
- 講習用教材として
 - ・ 1日2シートの演習＋解説を行い，5日で終了
- 宿題として
 - ・ 毎週1枚ワークシートを宿題として出し，翌週提出。採点して返却をする。
 - ・ 2～3ヶ月で完了

教材仕様

●体裁

- ・ A4判
本冊24ページ
- ・ 見開きで1シート

●ラインナップ

- ・ 小学校中学年用（3，4年生用）
- ・ 小学校高学年用（5，6年生用）
- ・ 中学生用
の3種類

●販売価格

4 4 0 円（10%税込）

●構成

- ・ 生徒用ワークシートと，解答
- ・ 全10テーマ
- ・ 1テーマ30～40分想定

生徒用ワークシート

生徒に親しみやすい内容を、文章、写真、図など様々な形で提示し、楽しみながら取り組めるようにします。

思考や判断のステップにそった設問に取り組むことで、どこに着目していくといいのか、どのように考えていけばいいのかが自然に身についていきます。

ワーク 2 トーナメントの敗者復活
優勝したら一番強い？

みなさん！ 承運は、待ちに待った校内サッカー大会です。らうかの掲示版には、今年の優勝チームの決め方の説明がはり出されています。今年は、敗者復活戦もあり、試合数も増えています。優勝目指してがんばりましょう！

サッカー大会の試合の進め方

予選 学年全体を8チームに分けて、8チームの総当たり戦を行い、上位4チームまでが決勝トーナメントへ進む。

(例)

対戦相手	A	B	C	D	E	F	G	H	試合数
A	●	○	○	○	○	○	○	○	5勝2敗
B	○	●	○	○	○	○	○	○	7勝0敗
C	●	●	○	○	○	○	○	○	1勝6敗
D	○	○	○	●	○	○	○	○	4勝3敗
E	○	○	○	○	●	○	○	○	6勝1敗
F	○	○	○	○	○	○	○	○	2勝7敗
G	○	○	○	○	○	○	○	○	0勝7敗
H	○	○	○	○	○	○	○	○	3勝4敗

この場合は、予選1位→B、予選2位→E、予選3位→A、予選4位→D
●勝数の同じときは、くじ引き

決勝トーナメント

優勝

```

    graph TD
      A[優勝] --> B[試合①]
      A --> C[試合②]
      B --> D[予選1位]
      B --> E[予選2位]
      C --> F[予選3位]
      C --> G[予選4位]
      G --> H[試合③の敗者]
  
```

調べよう

① この大会では、途中で有回が放れることがあっても、優勝することができます。最大で何回放れるか、優勝することができますか。
□回

考えよう

② この大会では、同じ2チームの対戦が有回が行われることがあります。左の例の場合、同じチームの試合の回数が増える可能性があるのは、どのチーム対どのチームの対戦ですか。また、その回数は何回ありますか。
□チーム 対 □チーム
対戦は最大で □回

整理しよう

③ この大会の進め方で優勝チームを決めると、「優勝したチームが一番強いとはいえないのではないか？」という納得できない意見が出てきました。左の例で、Bチームが優勝できなかった場合について、納得できない理由として考えられることを説明しましょう。

ここまでの設問の内容を整理することで、自分の考えを表現できる設問で、表現のポイントが身についていきます。

生徒用解答解説シート

解答例

生徒自身が解説を読み進めていくことで、どこにどのように着目し考えていけばいいのかが自然に身についていきます。

2 トーナメントの敗者復活
優勝したら一番強い？

解答・解説 あすがくワークシート

解答

問① 3回

問② BチームとFチーム 3回

問③ (例) 予選2位のEチームが敗者復活で優勝した場合、BチームとEチームの対戦では、Bチームの2勝、Eチームの1勝であり、しかも、Eチームは3回目にやっと勝てたにも関わらず、Eチームの優勝になるから。

解説

問① まずは、大会の進め方をじっくり理解しましょう。予選の勝敗表の「例」があるので、例えば、「自分がAチームだったら…」のような感じで全体を考えてみるとよいでしょう。

さて、予選で勝敗が同じチームが出てくると複雑になりますが、問題の例で考えるので、考えやすくなります。決勝トーナメントに進む4チーム(Aチーム、Bチーム、Dチーム、Eチーム)の中で、決勝トーナメントで敗けても優勝できるのは、予選1位のBチームが予選2位のEチームです。しかも、敗けるとしても1回だけです。しかし、予選4位のDチームは、予選で3回敗けていますが、決勝トーナメントで全勝すれば優勝です。したがって、最大で3回敗けても優勝できます。

問② 2回日の対戦が始まるのは、決勝トーナメントになってからです。もし敗者復活がなければ、同じ2チームの対戦は最大で2回までですが、敗者復活に関係するチームには、3回日の対戦があります。つまり、予選1位のBチームが予選2位のEチームは、予選で1回目、決勝トーナメントの試合①で2回目、ここで敗けたチームが敗者復活で勝てば、決勝戦で3回目の対戦になります。

したがって、BチームとEチームの対戦が3回ある可能性があるわけです。

問③ ここまで考えてきたので、納得できない意見は予想できますね。Bチームは予選全勝です。ここだけ見ると、Bチームが最強です。ところが、最後の最後、決勝戦で敗けたとしましょう。予選で7勝、決勝戦で1勝、決勝戦で1敗、つまり、8勝1敗で準優勝です。

問1で考えたように、Dチームが決勝トーナメントで全勝すると、予選が4章3敗、決勝トーナメントが3勝、つまり7勝3敗で優勝です。Bチームの立場で考えると納得できませんね。

また、こんな場合もあります。予選2位のEチームが敗者復活で優勝した場合です。EチームはBチームに予選で敗け、決勝トーナメントの試合①で敗けることになります。でも、最後の決勝戦でBチームに勝てば優勝です。勝敗は全部で8勝2敗ですが、問題はBチームとの対戦が1勝2敗ということです。これもBチームの立場で考えると納得できませんね。何か後で勝った方が有利のような印象があります。

以上のような点を、まとめるよいでしょう。